

溶連菌感染症



インフルエンザがはやっていますが、それ以外にも溶連菌感染症もはまっているそうですね。この感染症について教えてください。

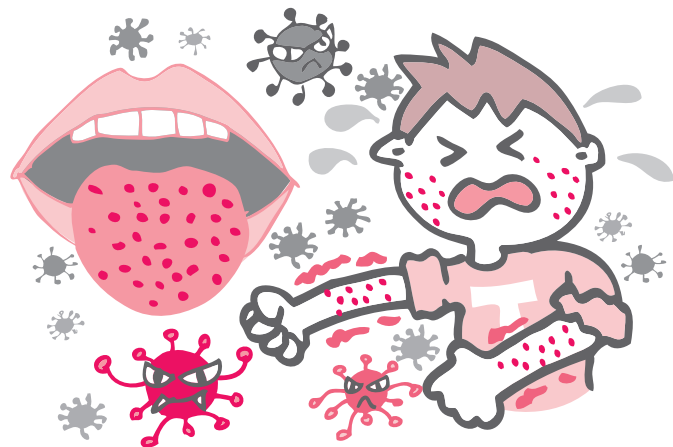


溶連菌は溶血性連鎖球菌とい

い、血液を溶かす作用のある球形の細菌が数個連鎖した形をしています。普段から健康な人の咽頭などに常在して

いますが、中に感染を引き起こすものがあり、咽頭や扁桃(へんとう)の炎症、高熱、関節痛の他し

ようこう熱といつて、全身に発疹が出たり、舌に白いものができて、いちご状に赤くなることもあります。ただ、インフルエンザと違ってせきや鼻水はあまりありません。感染経路は唾などの飛沫(ひまつ)やタオルを共同



で使うなどの接触

感染で、主に小児がかかりますが、家庭内感染を

通じて大人にもかかり、大人では頭痛などの症状が加わることも多いようです。抗生剤の反応は良いためにすぐに服用すべきですが、

よくなったと思つてやめると再発しますので、十分量を十分な期間服用しましょう。なお腎炎やリウマチ熱などの後遺症もあれば、いかなせん再感染もあるのです、注意ですね。

朝倉病院  
理事長/院長  
田辺 裕久さん